



「わかる」「できる」「楽しい」学校をめざして

中学校区一貫教育校園



胸上小HPのQRコード

胸上小だより

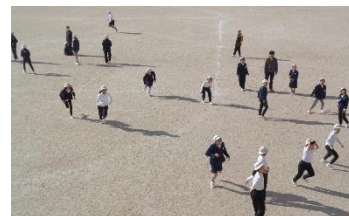
第14号

学校目標「心豊かで、自ら考えて行動する児童の育成」
「わかる」「できる」「楽しい」学校をめざして

令和6年12月10日

いよいよ12月に入りました。今まで、冬とは思えない暖かい日が続きましたが、いよいよ冬が到来しました。その中で子どもたちは、しっかり外で縄跳びをしたり、ドッチボールをしたりと体を動かして遊んでいます。

さて、11月も、ボランティアの方や外部団体の方と関わり、様々な学習をしました。学校だけではできない体験をさせていただき、とてもありがたいです。



5年 おにぎりパーティー



5年生は、この1年、「お米作り」の体験学習を行いました。学校支援ボランティアの一寸さん、梶原さん、籠井さんにお世話になり、6月に田植え、11月に稲刈りを体験させていただきました。そして、この学習でお世話になったボランティアの方を招待し、収穫したお米でおにぎりを作り、感謝の気持ちを届ける計画を立てました。具は鮭とおかかと昆布。お米のおいしさを味わうために塩むすびも作ります。

当日は、2人のボランティアの方が来てくださいました。お礼のおにぎりは、ラップに包んで、特に心を込めて握りました。炊き立てだったのはもちろんですが、「自分たちで」作ったお米、そして、「自分たちで」握ったおにぎりの味は、格別だったようです。そのあとは、絵しりとりやカルタを一緒にしました。

6年 お飾りづくり

5年生の「おにぎりパーティー」に引き続き、同じ日に、6年生が、お飾りづくりを梶原さんと一寸さんに教えていただきました。毎年、5年生が刈った稲を使って6年生がお飾りを作っています。約1か月かけて乾燥させたわらを使います。お飾りづくりで大切なところは、最初のわらをなうところ。意外と力が入る作業で、ぐっと力を入れ続けてなわないと緩んでしまい、かっこいいお飾りができません。何に対しても一生懸命にする6年生。教えていただいたとおりに、力を入れてわらをなう、ぐっとしまったしめ縄となりました。稲穂もつけ、立派なお飾りを作り上げました。



今は、東児市民センターの入口に飾っています。お近くに寄られましたら、ぜひ、ご覧ください。

子ども達に、貴重な体験をありがとうございました。

4年 福祉体験

4年生は、総合の学習で、福祉体験をしました。玉野市社会福祉協議会の方に来ていただき、「車いす体験」や「白杖・アイマスク体験」などを交流学習の一環として、鉾立小学校で行いました。どの体験も初めての体験となる4年生。目が不自由な体験では、見えないことへの怖さを体感しました。また、車いす体験では、自分の思う通りに車いすを動かす難しさや、介助の際には、相手のことを考えて声をかけたり車いすを動かしたりする大切さを学びました。



また、音が鳴るボールで遊んだり、点字がついているカードを触って、互いに感想を伝えあったりするなど、鉾立小学校の友達とも交流をすることができました。